



戸村 ひとみ 議員



### 高齢者福祉の充実について

**問** 高齢者の介護予防や健康維持において、高齢者が家から外に出ることが必要と考える。

**答** 生活に必要な施設や参加する行事への利便性のため、コミュニティバスを高齢者がより利用しやすくなるようなサービス改善が求められる。ルートの見直し、バス停数の増設、バス停に座って待つところの整備等の検討状況を伺う。

**問** 運行時間やルートなどの要望に全て応えるのは難しい。バスの利用実績などを踏まえながら適宜見直しを行い、利用者が使いやすい公共交通を目指す。

**答** コミュニティバスの無償化の検討状況を伺う。

**問** 県内でも平均的な運賃であり、軽減制度も設けているので、運行経費の確保、受益者負担の公平性の観点から、運賃の無償化については現在のところ検討していない。

### 飯岡海岸減災林について

**問** 東日本大震災直後に決めた海岸減災林の計画。これを、10年以上経って今年度から5か年で実行するに当たり、アンケート調査等で市民意見を集約してから実施すべきと考える。市民への周知、市民意見の集約、パブリックコメントはどのように行ったのか伺う。

**答** 復興計画策定時には、パブリックコメントを2回実施し、その際には減災林の整備についていろいろな意見をいただいたが、その中では特に整備に反対する意見等はなかった。

**問** 飯岡海岸減災林の植樹に反対する旨の意見書を、市民の方が市長に直接手渡している。この意見書に対して、市長の見解を伺う。

**答** 意見書では、植栽の管理や観光地としての景観の在り方など、旭の海を心から思っているということが伝わってきた。様々な意見はあると思うが、海岸減災林は市民の生命・財産を守る防災に関わる事業の一つ。巨大地震の発生も懸念されている中、より災害に強いまちづくりにつなげていきたい。

### 空き家対策について

**問** 有効活用が難しい空き家の解体が進まない理由として最も多いのが、解体費用がないという問題。つまり、やりたくてもお金がないというのが実情。解体補助金をもっと受け取りやすくないか伺う。

**答** 国の空き家対策総合支援事業を使い補助しているのですが、国の定める条件で事務手続きを行っている。使いやすくなるのはよいことだが、手続きについてはご理解いただきたい。

**問** 所有者がいない物件が火事などで全焼し、解体しなければならぬ場合、市ではどういった対応をしているのかを伺う。

**答** まずは消防署と連携して必ず要最低限の措置を行う。そのまま放置すると近隣住民に危険を及ぼす場合は、市が緊急安全措置を行う。その後、場合によっては略式代執行も出来るが、法改正により財産管理制度を市が使える

### 海業の推進について

ようになったので、こちらを使っていく方向で検討している。

**問** 海業推進協議会で出た具体的な公民連携の案を伺う。

**答** 協議会では、飲食施設、直売施設、グランピング施設、朝市、釣堀、養殖など多岐にわたる事業の検討を進めている。

### 屏風ヶ浦の活用について

**問** 屏風ヶ浦をグーグルマップで検索すると上永井地区の行き止まりに案内される。看板の設置など対策はできないか伺う。

**答** グーグル社には市から改善の依頼をしていきたい。案内看板の設置も検討していく。



「東洋のドーバー」と呼ばれる屏風ヶ浦

### その他の質問事項

○飯岡海岸減災林について



永井 孝佳 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。